

道立北見高技専自動車整備科7人全員合格

3月に行われた自動車整備士の国家試験で、道立北見高等技術専門学院(北見市末広町)自動車整備科(2年制)の7人全員が合格した。合格率100%は3年連続。学生達は管内の自動車販売会社などで即戦力をめざし、社会人の道を歩み出した。

同科は国交大臣指定の二級自動車整備士養成施設。1年次は

自動車の構造と基本的整備、2年次は電子制御装置の理解や故障診

国家資格取得し社会へ

断、ハイブリット車の整備などを学ぶ。ハンドル、ブレーキなど重要部品の検査は国家資格保有者でなければ行えない。

管内唯一の自動車整備科ということもあり、各地から採用予定がきいて、昨年の求人倍率は6・8倍の売り手市場。学生達は3月、就職が内定した後のプレッシャーが掛かる状況で学科試験に挑んだ。

や自動車整備会社へ送り出した。同科の科長専門主任は「修理して直すという結果で現れるところが自動車整備の魅力。依頼者からも感謝される」と技能を身につけるメリットを語る。今月20日の開講式に向け同学院は各科若干名を追加募集中。

今や貴重な整備科

結果は「二級ガソリン」「二級ジーゼル」ともに全員が合格。同学院もホッと

して修了生を管内のディーラー

